

① 次の計算をなさい。(各5点×4=20点)

(1) $-5^2 - 2 \times (-5)^2$ (2) $8a^2b \div (-4b) \times 3ab^2$

$$\begin{aligned} &= -25 - 2 \times 25 \\ &= -25 - 50 \\ &= \underline{\underline{-75}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= \frac{8a^2b \times 3ab^2}{4b} \\ &= \underline{\underline{-6a^3b^2}} \end{aligned}$$

(3) $\frac{3x-1}{2} - \frac{4x-5}{3}$ (4) $\sqrt{72} + \sqrt{8} - \sqrt{18}$

$$\begin{aligned} &= \frac{3(3x-1) - 2(4x-5)}{6} \\ &= \frac{9x-3-8x+10}{6} \\ &= \frac{x+7}{6} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= 6\sqrt{2} + 2\sqrt{2} - 3\sqrt{2} \\ &= \underline{\underline{5\sqrt{2}}} \end{aligned}$$

② 次の問いに答えなさい。(各5点×4=20点)

(1) $x^2 - 81$ を因数分解しなさい。

$$x^2 - 81 = x^2 - 9^2 = (x+9)(x-9)$$

(2) 方程式 $0.3x - 2 = 0.5x + 0.4$ を解きなさい。

$$\begin{aligned} \text{両辺10倍} \quad &3x - 20 = 5x + 40 \\ &3x - 5x = 40 + 20 \\ &-2x = 60 \\ &\underline{\underline{x = -30}} \end{aligned}$$

(3) 2個のさいころを同時に投げるとき、目の数の和が4の倍数である確率を求めなさい。

全部で $6 \times 6 = 36$ 通り中、
目の数の和が4... (1, 3), (2, 2), (3, 1)
目の数の和が8... (2, 6), (3, 5), (4, 4), (5, 3), (6, 2)
目の数の和が12... (6, 6) の9通り
よって、 $\frac{9}{36} = \frac{1}{4}$

(4) $2^a - 2^5 = 2^a$ となる自然数 a の値を求めなさい。

$$\begin{aligned} 2^a - 2^5 &= 2 \times 2^5 - 2^5 = 2^5 \times (2 - 1) = 2^5 \text{ より, } \underline{\underline{a=5}} \\ (2^8 - 2^5 &= 64 - 32 = 32 = 2^5 \text{ から求めることもできる}) \end{aligned}$$

③ ある列車が以下の2つの条件を満たして走っているとして、次の問いに答えなさい。(各5点×4=20点)

- ① 3kmのトンネルを2分6秒で通過する。
② 750mの橋を36秒で通過する。

(1) この列車の長さを x m, 速さを分速 y m として、次の に適する式をかき、連立方程式を完成させなさい。

$$\begin{cases} \text{ア} = \frac{21}{10}y \\ 750+x = \text{イ} \end{cases}$$

「通過する」=列車の頭がトンネル(橋)に入って、
列車のおしりがトンネル(橋)から出るまで。
通過したときの距離は「トンネル(橋)の長さ+列車の長さ」
単位をそろえる。速さを分速 x m としているので、距離は m ,
時間は分にそろえておく。

$$\begin{aligned} 3\text{km} &= 3000\text{m}. \\ 2\text{分}6\text{秒} &= 2\frac{6}{60}\text{分} = 2\frac{1}{10}\text{分} = \frac{21}{10}\text{分}. \quad 36\text{秒} = \frac{36}{60}\text{分} = \frac{3}{5}\text{分}. \end{aligned}$$

「道のり=速さ×時間」を利用して、

$$\begin{cases} 3000+x = \frac{21}{10}y \quad \dots \text{①} \\ 750+x = \frac{3}{5}y \quad \dots \text{②} \end{cases} \text{ となるので, } \quad \underline{\underline{\text{ア } 3000+x}}, \quad \underline{\underline{\text{イ } \frac{3}{5}y}}$$

(2) (1) の連立方程式を解いて、 x, y の値をそれぞれ求めなさい。

$$\begin{aligned} \text{①より, } x &= \frac{21}{10}y - 3000 \quad \dots \text{③} \\ \text{②より, } x &= \frac{3}{5}y - 750 \quad \dots \text{④} \\ \text{③を④に代入} \quad &\frac{21}{10}y - 3000 = \frac{3}{5}y - 750 \\ \text{両辺10倍} \quad &21y - 30000 = 6y - 7500 \\ &21y - 6y = -7500 + 30000 \\ &15y = 22500 \\ &y = 1500 \\ \text{④に代入} \quad &x = \frac{3}{5} \times 1500 - 750 = 900 - 750 = 150 \end{aligned}$$

$$\underline{\underline{x=150}} \quad \underline{\underline{y=1500}}$$

④ 図のように兄弟の家とコンビニと駅が一直線に並んでいる。

家 コンビニ 駅
家とコンビニの距離は200m, コンビニと駅の距離は1000mである。
朝7時0分に兄はコンビニを出て駅に向かって分速100mで歩いた。同時に弟は家を出て分速150mで駅に向かって走った。次の問いに答えなさい。

(各5点×4=20点)

(1) 7時 x 分における家から兄までの距離(単位m)を x の式で表しなさい。

$$\underline{\underline{200+100x \text{ (m)}}}$$

(2) 7時 x 分における家から弟までの距離(単位m)を x の式で表しなさい。

$$\underline{\underline{150x \text{ (m)}}}$$

(3) 弟が兄に追いつく時刻は7時何分であるか。

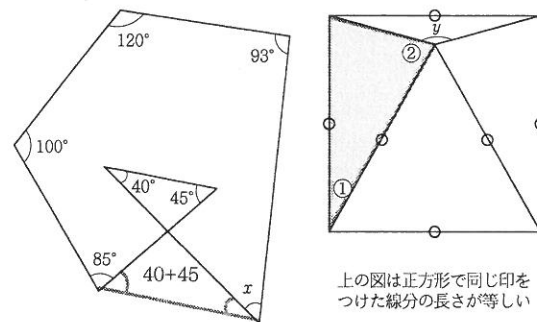
$$\begin{aligned} \text{「追いつく」} &= \text{「2人の距離が等しい」} \\ 200+100x &= 150x, \quad -50x = -200, \quad x = 4 \end{aligned}$$

$$\underline{\underline{7時4分}}$$

(4) 弟が駅に着いて何分後に兄は駅に着くか。

$$\begin{aligned} \text{弟は, 家から駅まで} &(200+1000) \div 150 = 8\text{分} \\ \text{兄は, コンビニから駅まで} &1000 \div 100 = 10\text{分} \\ \text{よって, } &10 - 8 = \underline{\underline{2分後}} \end{aligned}$$

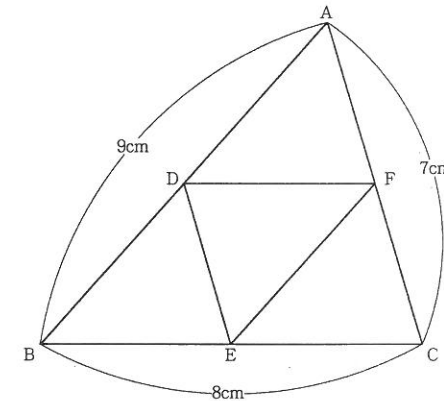
⑤ 下の図形の角度 $\angle x, \angle y$ の大きさを求めなさい。(各5点×2=10点)



図のように補助線を引くと、すべての角の和は五角形の内角の和になる。五角形の内角の和は、 $180 \times (5-2) = 540^\circ$
 $\angle x = 540 - (40 + 45 + 85 + 100 + 120 + 93) = 540 - 483 = \underline{\underline{67^\circ}}$

正方形の1つの内角は 90° , 正三角形の1つの内角は 60° ,
①の角は、 $90 - 60 = 30^\circ$ 。色をつけた三角形は二等辺三角形なので、②の角は、 $(180 - 30) \div 2 = 75^\circ$
 $\angle y = 360 - (75 + 60 + 75) = 360 - 210 = \underline{\underline{150^\circ}}$

⑥ 下の図の $\triangle ABC$ で、点 D, E, F は、それぞれ辺 AB, BC, CA の中点である。次の問いに答えなさい。(各5点×2=10点)



(1) $\triangle DEF$ の周の長さを求めなさい。

$$\begin{aligned} \text{中点連結定理より, } EF &= \frac{1}{2}AB, \quad DF = \frac{1}{2}BC, \quad DE = \frac{1}{2}CA, \\ EF + DF + DE &= \frac{1}{2}(AB + BC + CA) \\ &= \frac{1}{2} \times (9 + 8 + 7) = \frac{1}{2} \times 24 = \underline{\underline{12\text{cm}}} \end{aligned}$$

(2) $\triangle DEF$ と $\triangle ABC$ の面積比を求めなさい。

$\triangle DEF \sim \triangle ABC$ で相似比は $1:2$ なので、
面積比は、 $1^2:2^2 = \underline{\underline{1:4}}$
(中点 D, E, F によって、 $\triangle ABC$ は4つの合同な三角形に分けられている)